

D 家庭部会

研究協議題

1. 家政科、保育科における問題点と今後の改善策について
  - ア. 教育課程について
  - イ. 施設設備について
  - ウ. 職業との関連について
  - エ. 指導法—とくにHRについて
  - オ. その他
2. 家庭に関する学科の充実改善について
3. 家庭科教育の体質改善について
4. 「被服」Ⅰ「被服Ⅱ」における技術指導についてその範囲と程度をどうおさえたらよいか。
5. その他
  - ア. 会議のすすめ方・リーダーシップについて
  - イ. 視聴覚教材研究
  - ウ. 夏季研修参加者の報告（被服を中心に）

E 技術・家庭部会（講義）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 男子向き }<br>女子向き } | 1. 技術・家庭科教育の本質    |
|                  | 2. 技術・家庭科の指導計画    |
|                  | 3. 技術・家庭科における授業研究 |
|                  | 4. 技術・家庭科と視聴覚教材   |
|                  | 5. 技術・家庭科における教具   |

協議 本県技術家庭科教育の問題点

F 進路指導部会

1. 進路指導の教育的意義をどうとらえたらよいか。
2. 学級活動やHRにおける進路指導をどうすればよいか。
3. 進路指導における個人理解を深めるためにはどうすればよいか。
4. 進路相談を有効に進めるにはどうすればよいか。
5. 進路情報等の活用を効果的にするにはどうすればよいか。

② 昭和41年度福島県産業教育実技講習会

ア. 目的

わが国産業界における科学技術のいちじるしい進歩にかんがみ、高等学校の職業に関する教科担当教員の実技を主とする研修を実施し、もって高等学校産業教育担当者の資質と指導力の向上を図る。

イ. 教科別・期日・会場

教科	期日	会場
農業	8月2日(火) 8月3日(水) 8月4日(木) 8月5日(金)	岩瀬農業学校
工業	8月2日(火) 8月3日(水) 8月4日(木)	福島工業学校
商業	8月2日(火) 8月3日(水) 8月4日(木) 8月5日(金)	郡山商業学校
家庭	7月26日(火) 7月27日(水) 7月28日(木)	福島農蚕学校

ウ. 講師

農業科	県教育庁指導課指導主事	佐竹 俊彦
	岩瀬農業高等学校教諭	河田 允
	〃	伊地知清弘
〃	〃	平野 春信
	会津農業高等学校教諭	古川 恵庸
	工業科	県教育庁指導課産業教育係長
福島工業高等学校教諭		渡辺 好光
〃	〃	成田 光義
	〃	佐藤 正義
	〃	柏木 豊
商業科	県教育庁指導課指導主事	横山 茂
	日本事務能率協会検定委員	セト・エイジロー
〃	福島商業高等学校教諭	山崎 一雄
	家庭科	県教育庁指導課指導主事
福島大学教育学部助教授		松本エミ子
〃	県厚生部環境衛生課食品衛生係技官	齋藤 長
	湯本高等学校教諭	神長 和子
〃	福島農蚕高等学校教諭	栗原 キミ
	福島農蚕高等学校教諭	佐藤 貞子

エ. 教科別実施要項

A 農業科

1. 目的

食品加工業界における科学技術の進歩はいちじるしいものがある。

これに対処して農業教科担当教員の実技を主とする研修を実施して、資質の向上と指導の改善・充実をはかる。

2. 会場校 福島県立岩瀬農業高等学校

3. 期日

8月2日(火)	13.00~16.00
8月3日(水)	9.00~16.00
8月4日(木)	9.00~16.00
8月5日(金)	9.00~12.00

4. 講習内容

- ・農業科目の学習指導法について
- ・食品加工（かん詰製造について）
- ・畜産加工（冷凍、冷蔵処理実習について）

B 工業科

1. 目的

高等学校工業科の「機械・電気に関する科目」の指導における実技についての指導力を高めることを目的とする。

2. 会場校 福島県立福島工業高等学校

3. 期日

8月2日(火)	13.00~16.00
8月3日(水)	9.00~12.00
8月4日(木)	9.00~12.00

4. 講習内容

- ・工業科目の学習指導法について
- ・光学的測定について
- ・電気的測定について
- 視聴覚教材の活用について